

# 地域おこし協力隊 座談会

地域おこし協力隊は都市住民が地方に移住し、地域おこし活動や農林漁業の応援、住民の生活支援に従事してもらい、あわせてその地域に定住・定着を図りながら、地域活性化を目指す取り組みです。

全国では約5,000人（平成29年度）が地域おこし協力隊として活動しており、福井県でも平成21年度以降これまで約150名が活動してきました。

地域おこし協力隊といっても活動する地域や内容はさまざま。そこで、福井県の現役地域おこし協力隊と協力隊OGにゲストハウス「地域まるっと体験宿 玉村屋（南越前町）」にお集まりいただき、地域おこし協力隊についての本音トークをしていただきました。



岩本 晃弘さん

福井市地域おこし協力隊 2年目  
東京都出身

梅の栽培や梅を使った商品の開発、地域を盛り上げるイベントの企画などを通して地域活性化に取り組む。大学卒業後に高齢者施設で事務員を務めた後、オーストラリアに渡り1年間農場で働いた。国内でも地方に貢献したいと思い平成29年2月協力隊に就任。



中谷 翔さん

南越前町地域おこし協力隊 3年目  
京都府出身

地域の交流拠点として古民家を活用したゲストハウス「地域まるっと体験宿 玉村屋」を平成31年2月にオープン。大学在学中に自転車で日本一周。行く先々でさまざまな人と交流した経験から地域に貢献できる仕事をしたいと思い平成28年4月協力隊に就任。



相澤 弘美さん

小浜市地域おこし協力隊OG  
宮城県出身

協力隊として観光振興に取組み県内外で小浜市のPRを行った。退任後にアイザワ商店を起業し、仙台弁で「お越しください」という意味の古民家カフェ「ございん」&レンタルスペース「こしえる」をオープン。地域の食材を使った東北の郷土料理を提供している。



唐川 恵美子さん

坂井市地域おこし協力隊OG  
福井県坂井市出身

協力隊として移住体験施設等を拠点としたイベントの企画などを行った。大学卒業後、東京のコンサートホールなどを運営する法人に務めた後、地域と向き合ってきた人たちと働きたいと思い協力隊に就任。現在は坂井市文化振興事業団に勤務し、音楽で地域を元気にする活動を行っている。

## 福井の好きなところは？

**岩本** 食べ物がかたくおいしい！港町に住んでいるから特に海の幸がおいしいですね。行きつけの魚屋さんもできました。

**相澤** 米や水もおいしいですねえ。コシヒカリは福井で誕生したお米ですし。

**唐川** 東京に住んでいたけど、Uターンしてきて福井の景色がすごく綺麗って実感しました。

**中谷** 海の景色も山の景色も少し移動すれば楽しむことができるのも魅力ですね。あとは、雪が降るところも好きかな。雪が降るから四季をはっきり感じられると思うなあ。

## 協力隊になってよかった・大変だったことは？

**唐川** 協力隊として活動していると地域の人と関わる機会が多く、困った時があった時によく地域の人から助けてくれるところかな。

**相澤** 私も協力隊ということ、宮城県出身者が福井では珍しかったこともあって、地域



の人と仲良くなりやすかったですね。普段は外に出ることが多かったのが、仲良くなると車が1日ずっと家にあるだけで、倒れているんじゃないかって心配してもらえたり（笑）

**中谷** 僕は地域の方が地域活動に対して主体的に動くようになったことが嬉しいな。協力隊だけで地域を変えるのは難しいけど、地域の人が変わるきっかけになることはできると思いました。

**唐川** 大変だったことは、福井だとやっぱり昔の考え方が少し残っていて男女の役割が決まっていたことです。女性だからという理由でやらないといけない雑用もありました。

**相澤** 「地域おこし協力隊」という名前から、地域のことに積極的に協力する人というイメージが強いので、活動中にギャップをよく感じました。

## 協力隊になった満足度は？

**岩本** 僕はだいたい満足しています。最初から自分のステップアップのために活動してきたし、農業がやりたくてきたからやりたいこともできています。

**相澤** 元々たくさんの人と話をできる仕事をしたと思って協力隊になり、実際たくさんの人と交流ができて良かったです。でも、かなり忙しかったから及第点ってところかな。

**中谷** 僕はかなり満足していますね。3年間で空き家を改修して地域の交流拠点をつくることを目標に活動してきました。無事オープンにもたどり着くことができたし、これが自分のやりたいことだったので協力隊になって良かったと思います。でも、やりたいけどできていないことがまだいっぱいあるので少しマイナス。（笑）

**唐川** 私は満足度はあまり高くないですね。

これまでの地域おこし協力隊がやってきた業務に加えて、自分の業務もこなさなければならなかったのが、休みがあまりなく、大変でした。ただ、大変でしたが、普通では挑戦しないような仕事も経験できて良かったと思います。

## 今後の目標は？

**唐川** 文化を通して地域に関わっていきたいと思っています。教育や医療など様々な分野に音楽やアート、文化を起点にしながら地域に貢献していきたいです。

**相澤** 60歳までにやりたいと思っていた飲食店の経営を始めて1年経過しました。これからは営業日を増やしたり、新メニューの開発をしてもっとたくさんの人に店に来てもらい、地域の方の交流の場としてもっと盛り上げていきたいです。

**岩本** 福井県外のものでも福井県内で発信するってあまりないんじゃないかなって思う。だから、福井県外の物を福井県内に持ち込んで、福井県内で新しいモノやコトを生み出していけたらいいなって思っています。

**中谷** 最終的な目標は20代～40代の方たちの社会的孤独をなくしたいと思っています。協力隊の活動で宿屋をオープンしたのも、目標を達成するための過程の1つとして行ってきました。だから、2～3年宿屋を続けた後は誰かに引き継ぎ、交流拠点を開いたこの経験を他の地域でも広げていきたいと思っています。

